

「海を越える愛」



鳥根県・ロシア連邦沿海地方
友好交流30周年記念事業

1905年の日露戦争において、海戦で亡くなった多くのロシア兵の遺体が鳥根県の海岸に漂着しました。このロシア兵を埋葬した「ロシア人墓地」が県内には複数存在しているだけでなく、そのお墓を今でも守り続けている地元の方がいらつしやいます。また、この時の戦いで、江津市沖で沈没したロシアバルチック艦隊特務艦イルティッシュ号の乗組員全員を、江津市和木町の住民が敵国の兵士と知りながら救助した実話もあります。このように、鳥根県とロシアには昔から深い歴史があり、今も交流が続けられています。

記録映画「イルティッシュ号の来た日」

ロシアドキュメンタリー映画上映会 ～鳥根で語り継がれる交流の絆～

【第1部】

映画上映会

13:30～15:20 ※休憩有

「海を越える愛」(約40分)

記録映画「イルティッシュ号の来た日」(約45分)

【第2部】

映画関係者との意見交換会

15:20～15:50

会場と映画関係者をオンラインでつなぎ、意見交換を行います。

※映画関係者の詳細は、文化国際課のホームページをご確認ください。

鳥根県 ロシア30周年記念事業

検索



《イルティッシュ号の来た日》

日時 | 令和4年1月15日(土) 13:00開場 / 13:30開演

会場 | 鳥根県立産業交流会館(くにびきメッセ)小ホール

〒690-0826 鳥根県松江市学園南1丁目2番1号

- ・新型コロナウイルス感染症の感染拡大状況によっては、延期・中止する場合があります。
- ・来場の際は、マスク着用、検温、手指消毒など感染防止対策にご協力をお願いいたします。

一般財団法人自治体国際化協会助成事業により実施しています。

一般財団法人
自治体国際化協会

事前申込要
裏面をご確認ください。



入場無料
定員100人

主催：鳥根県 ■お問い合わせ：鳥根県環境生活部文化国際課国際交流グループ TEL 0852-22-5480

「海を越える愛」 制作者:日露の懸け橋「花道」プロジェクト

本作はロシアウラジオストクと島根県隠岐地方との交流を描いた作品で、日露戦争とシベリア抑留による日本人とロシア人との深い絆のドキュメント。

抑留中の日本人医師に命を救われた叔母を持つエレナ・アンドレエワさんがインタビュアーとなり、島根県の6人の日本人と沿海地方の3人のロシア人の家族の戦争の記憶を辿りつつ新たな日露交流の姿を模索し、国を超えた市民交流の大切さと今も続くお互いの心のつながりをあたためて認識させられる作品。



記録映画「イルティッシュ号の来た日」 制作者:有限責任会社プロダクション・センター(シネマ・プロダクション)

本作は、モスクワ日本商工会、ロシア日本大使館の協力によりロシア歴史協会の支援を受け、ロシアの制作会社シネマプロダクションが制作。県内の撮影は、石見ケーブルビジョン株式会社が協力した。

日露戦争の真ただ中の1905年5月、江津市の和木真島沖でロシアのバルチック艦隊「イルティッシュ号」は沈没しかけていた。荒れる海の中、白旗を掲げて岸に近づこうとする彼らを地元・和木町の住民が救助し、乗組員約260人全員が命をとりとめた。「イルティッシュ号の来た日」は、日本人が敵国兵を命がけで救った人道的な行動やその後のロシアと日本の子孫の歩みを丹念に追った記録映画。



申込方法

以下の方法に必要な事項を記載し、お申込みください。

①お名前 ②フリガナ ③住所 ④連絡先 ⑤申込枚数(お一人様4枚まで)

インターネット受付

二次元コードより、お申込みしてください。



メールまたはFAX受付

E-mail:bunka-kokusai@pref.shimane.lg.jp

FAX:0852-22-6412

※お申込みの際は、件名を「ロシアドキュメンタリー映画上映会 申込」としてください。

申込期限

令和4年1月7日(金)

注意事項

- ・お申込みは、お一人様4枚までとさせていただきます。 ・定員になり次第、受付を終了させていただきますのでご了承ください。
 - ・整理券は、代表者へお送りしますので、当日必ずご持参ください。前日までに整理券が届かない場合は、お問い合わせ先まで、ご連絡ください。
 - ・お申し込みされた代表者の氏名・緊急連絡先をお伺いします。
- 新型コロナウイルス感染症の発生が疑われた場合などに、保健所等の公的機関からの要請に応じて、情報提供を行う場合がありますので、ご了承ください。